



院内採用医薬品集

2009年4月発行 第3版

JAPIC 病院

薬剤室

(神経系及び感覚器官用医薬品)

11	中枢神経系用薬				
111	全身麻酔剤				
1119	その他の全身麻酔剤	内	注	外 他
				1	
114	解熱鎮痛消炎剤				
1141	アニリン系製剤	内	注	外 他
				1	
1149	その他の解熱鎮痛消炎剤	内	注	外 他
				2	
13	感覚器官用薬				
131	眼科用剤				
1319	その他の眼科用剤	内	注	外 他
				2	

(組織細胞機能用医薬品)

42	腫瘍用薬				
422	代謝拮抗剤				
4229	その他の代謝拮抗剤	内	注	外 他
				3	
429	その他の腫瘍用薬				
4291	その他の抗悪性腫瘍用剤	内	注	外 他
				3	
44	アレルギー用薬				
441	抗ヒスタミン剤				
4411	ジフェンヒドラミン系製剤	内	注	外 他
				3	
449	その他のアレルギー用薬				
4490	その他のアレルギー用薬	内	注	外 他
				3	

(治療を主目的としない医薬品)

72	診断用薬 (体外診断用薬品を除く)				
721	X線造影剤				
			内	注	外 他

7219	その他のX線造影剤	5				
729	その他の診断用薬（体外診断用医薬品を除く）			内	注	外	他
7290	その他の診断用薬（体外診断用医薬品を除く）	5				
79	その他の治療を主目的としない医薬品						
799	他に分類されない治療を主目的としない医薬品			内	注	外	他
7990	他に分類されない治療を主目的としないその他の医薬品	5				

(麻薬)

81	アルカロイド系麻薬（天然麻薬）						
811	あへんアルカロイド系麻薬			内	注	外	他
8114	モルヒネ系製剤	6				
82	非アルカロイド系麻薬						
821	合成麻薬			内	注	外	他
8219	その他の合成麻薬	6				

1 神経系及び感覚器用医薬品

11 中枢神経系用薬

■ケタラール静注用200mg(第一三共プロファーマ)【注射】

一般名

塩酸ケタミン注射液

禁忌

- 1.本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- 2.脳血管障害、高血圧(収縮期圧 160mmHg 以上、拡張期圧 100mmHg 以上)、脳圧亢進症及び重症の心代償不全の患者[一過性の血圧上昇作用、脳圧亢進作用がある。]
- 3.痙攣発作の既往歴のある患者[痙攣を誘発することがある。]
- 4.外来患者[麻酔前後の管理が行き届かない。]

効能効果

手術、検査および処置時の全身麻酔および吸入麻酔の導入

用法用量

通常、ケタミンとして、初回体重 1kg 当り 1～2mg を静脈内に緩徐(1 分間以上)に投与し、必要に応じて、初回量と同量又は半量を追加投与する。

適宜追加投与する。

(2)維持:通常、酸素もしくは酸素・亜酸化窒素混合ガスと併用し、本剤を静脈内に投与する。適切な麻酔深度が得られるよう患者の全身状態を観察しながら、投与速度を調節する。通常、成人には、本剤 0.4～1.0mL/kg/時(プロポフォールとして 4～10mg/kg/時)の投与速度で適切な麻酔深度が得られる。

また、鎮痛剤(麻薬性鎮痛剤、局所麻酔剤等)を併用すること。

なお、局所麻酔剤併用時には通常より低用量で適切な麻酔深度が得られる。

2.集中治療における人工呼吸中の鎮静:成人(高齢者を含む)には本剤を 0.03mL/kg/時(プロポフォールとして 0.3mg/kg/時)の投与速度で、持続注入にて静脈内に投与を開始し、適切な鎮静深度が得られるよう患者の全身状態を観察しながら、投与速度を調節する。

通常、成人には本剤 0.03～0.30mL/kg/時(プロポフォールとして 0.3～3.0mg/kg/時)の投与速度で適切な鎮静深度が得られる。

なお、疾患の種類、症状の程度を考慮し、必要とする鎮静深度に応じて投与速度を増減すること。また、必要に応じて鎮痛剤を併用すること。

■1%プロポフォール注「マルイシ」(丸石製薬)【注射】

【後発品】

一般名

プロポフォール注射液

禁忌

- 1.本剤または本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- 2.妊産婦(「6.妊婦、産婦、授乳婦等への投与」の項参照)
- 3.小児(集中治療における人工呼吸中の鎮静)(「7.小児等への投与」の項参照)

効能効果

- 1.全身麻酔の導入及び維持
- 2.集中治療における人工呼吸中の鎮静

用法用量

- 1.全身麻酔の導入及び維持

(1)導入:通常、成人には本剤を 0.05mL/kg/10 秒(プロポフォールとして 0.5mg/kg/10 秒)の速度で、患者の全身状態を観察しながら、就眠が得られるまで静脈内に投与する。なお、ASAⅢ 及び IV の患者には、より緩徐に投与する。

通常、成人には本剤 0.20～0.25mL/kg(プロポフォールとして 2.0～2.5mg/kg)で就眠が得られる。高齢者においては、より少量で就眠が得られる場合がある。就眠後は必要に応じて

■カロナール錠200(昭和薬品化工)【内用薬】

【後発品】

一般名

アセトアミノフェン錠

禁忌

- 1.消化性潰瘍のある患者[症状が悪化するおそれがある。]
- 2.重篤な血液の異常のある患者[重篤な転帰をとるおそれがある。]
- 3.重篤な肝障害のある患者[重篤な転帰をとるおそれがある。]
- 4.重篤な腎障害のある患者[重篤な転帰をとるおそれがある。]
- 5.重篤な心機能不全のある患者[循環系のバランスが損なわれ、心不全が増悪するおそれがある。]
- 6.本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- 7.アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤による喘息発作の誘発)又はその既往歴のある患者[アスピリン喘息の発症にプロスタグランジン合成阻害作用が関与していると考えられる。]

効能効果

1.頭痛、耳痛、症候性神経痛、腰痛症、筋肉痛、打撲痛、捻挫痛、月経痛、分娩後痛、がんによる疼痛、歯痛、歯科治療

<p>後の疼痛</p> <p>2. 下記疾患の解熱・鎮痛</p> <p>急性上気道炎(急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む)</p> <p>用法用量</p> <p>錠 200:</p> <p>効能・効果(1)の場合:</p> <p>通常, 成人にはアセトアミノフェンとして 1 回 0.3~0.5g, 1 日 0.9~1.5g(錠 200: 4.5~7.5 錠)を経口投与する。</p> <p>なお, 年齢, 症状により適宜増減する。</p> <p>効能・効果(2)の場合:</p> <p>通常, 成人にはアセトアミノフェンとして, 1 回 0.3~0.5g を頓用する。</p> <p>なお, 年齢, 症状により適宜増減する。</p> <p>ただし, 原則として 1 日 2 回までとし, 1 日最大 1.5g(錠 200: 7.5 錠)を限度とする。また, 空腹時の投与は避けさせることが望ましい。</p>	<p>敏症の既往歴のある患者</p> <p>効能効果</p> <p><適応菌種>:</p> <p>本剤に感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、腸球菌属、マイクロコッカス属、モラクセラ属、コリネバクテリウム属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、セラチア属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、インフルエンザ菌、ヘモフィルス・エジプトチウス(コッホ・ウィークス菌)、シュードモナス属、緑膿菌、ステノトロホモナス(ザントモナス)・マルトフィリア、アシネトバクター属、アクネ菌</p> <p><適応症>:</p> <p>眼瞼炎、涙嚢炎、麦粒腫、結膜炎、瞼板腺炎、角膜炎(角膜潰瘍を含む)、眼科周術期の無菌化療法</p> <p>用法用量</p> <p>通常, 1 回 1 滴, 1 日 3 回点眼する。なお, 症状により適宜増減する。</p>
<p>■ロキソニン錠(第一三共)【内用薬】</p> <p>一般名</p> <p>ロキソプロフェンナトリウム錠</p> <p>禁忌</p> <p>1. 消化性潰瘍のある患者[プロスタグランジン生合成抑制により、胃の血流量が減少し消化性潰瘍が悪化することがある。](ただし、「慎重投与」の項参照)</p> <p>2. 重篤な血液の異常のある患者[血小板機能障害を起こし、悪化するおそれがある。]</p> <p>3. 重篤な肝障害のある患者[副作用として肝障害が報告されており、悪化するおそれがある。]</p> <p>4. 重篤な腎障害のある患者[急性腎不全、ネフローゼ症候群等の副作用を発現することがある。]</p> <p>5. 重篤な心機能不全のある患者[腎のプロスタグランジン生合成抑制により浮腫、循環体液量の増加が起こり、心臓の仕事量が増加するため症状を悪化させるおそれがある。]</p> <p>6. 本剤の成分に過敏症の既往歴のある患者</p> <p>7. アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発)又はその既往歴のある患者[アスピリン喘息発作を誘発することがある。]</p> <p>8. 妊娠末期の婦人[「妊婦、産婦、授乳婦等への投与」の項参照]</p>	<p>■ビスコート(日本アルコン)【外用】</p> <p>【後発品】</p> <p>一般名</p> <p>ヒアルロン酸ナトリウム・コンドロイチン硫酸ナトリウム液</p> <p>効能効果</p> <p>次の一連の眼科手術における手術補助: 超音波乳化吸引法による白内障摘出術及び眼内レンズ挿入術</p> <p>用法用量</p> <p>通常、超音波乳化吸引法による白内障摘出時には 0.1~0.4mL、眼内レンズ挿入時には 0.1~0.3mL を前房内へ注入する。</p> <p>又、必要に応じて眼内レンズのコーティングに 0.1mL 使用する。</p>
<p>13 感覚器官用薬</p>	
<p>■クラビット点眼液(参天製薬)【外用】</p> <p>一般名</p> <p>レボフロキサシン液</p> <p>禁忌</p> <p>本剤の成分、オフロキサシン及びキノロン系抗菌剤に対し過</p>	

4 組織細胞機能用医薬品

42 腫瘍用薬

■ティーエスワンカプセル20(大鵬薬品工業)【内用薬】

一般名

テガフル・ギメラシル・オテラシル配合剤(テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム)カプセル

禁忌

- 1.本剤の成分に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者
- 2.重篤な骨髄抑制のある患者[骨髄抑制が増強するおそれがある。]
- 3.重篤な腎障害のある患者[フルオロウラシルの異化代謝酵素阻害剤ギメラシルの腎排泄が著しく低下し、血中フルオロウラシル濃度が上昇し、骨髄抑制等の副作用が強くなるおそれがある(「薬物動態」の項参照)。]
- 4.重篤な肝障害のある患者[肝障害が悪化するおそれがある。]
- 5.他のフツ化ピリミジン系抗悪性腫瘍剤(これらの薬剤との併用療法を含む)を投与中の患者(「相互作用」の項参照)
- 6.フルシトシンを投与中の患者(「相互作用」の項参照)
- 7.妊婦又は妊娠している可能性のある婦人(「妊婦、産婦、授乳婦等への投与」の項参照)

効能効果

胃癌、結腸・直腸癌、頭頸部癌、非小細胞肺癌、手術不能又は再発乳癌、膵癌、胆道癌

用法用量

通常、成人には初回投与量(1回量)を体表面積に合せて次の基準量とし、朝食後及び夕食後の1日2回、28日間連日経口投与し、その後14日間休薬する。これを1クールとして投与を繰り返す。

体表面積	初回基準量 (テガフル相当量)
1. 25m ² 未満	40mg/回
1. 25m ² 以上～1.5m ² 未満	50mg/回
1. 5m ² 以上	60mg/回

なお、患者の状態により適宜増減する。増減量の段階を40mg、50mg、60mg、75mg/回とする。増量は本剤の投与によりと判断される臨床検査値異常(血液検査、肝・腎機能検査)及び消化器症状が発現せず、安全性に問題がなく、増量できると判断される場合に初回基準量から一段階までとし、75mg/回を限度とする。また、減量は通常、一段階ずつ行い、最低投与量は40mg/回とする。

■フェアストン錠40(日本化薬)【内用薬】

一般名

クエン酸トレミフェン錠

禁忌

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人及び授乳婦[本剤の効能・効果は「閉経後乳癌」であり、また動物実験で生殖毒性が認められている。]

効能効果

閉経後乳癌

用法用量

通常、成人にはトレミフェンとして40mgを1日1回経口投与する。
また、既治療例(薬物療法及び放射線療法などに無効例)に対しては、通常成人にトレミフェンとして120mgを1日1回経口投与する。
なお、症状により適宜増減する。

44 アレルギー用薬

■ベナ錠(田辺三菱製薬)【内用薬】

一般名

塩酸ジフェンヒドラミン錠

禁忌

- 1.緑内障のある患者[抗コリン作用により房水通路が狭くなり眼圧が上昇し、緑内障を悪化させるおそれがある。]
- 2.前立腺肥大等下部尿路に閉塞性疾患のある患者[抗コリン作用による膀胱平滑筋の弛緩、膀胱括約筋の緊張により、症状を悪化させるおそれがある。]

効能効果

蕁麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒(湿疹、皮膚炎)、枯草熱、アレルギー性鼻炎、血管運動性鼻炎、急性鼻炎、春季カタルに伴うそう痒

用法用量

ジフェンヒドラミン塩酸塩として、通常成人1回30～50mg(3～5錠)を1日2～3回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

■アゼプチン錠1mg(エーザイ)【内用薬】

一般名

塩酸アゼラスチン錠

効能効果

気管支喘息
アレルギー性鼻炎
蕁麻疹、湿疹・皮膚炎、アトピー性皮膚炎、皮膚そう痒症、痒疹

用法用量

1.気管支喘息:通常、塩酸アゼラスチンとして1回2mgを、朝食後及び就寝前の1日2回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

2.アレルギー性鼻炎及び蕁麻疹、湿疹・皮膚炎、アトピー性皮膚炎、皮膚そう痒症、痒疹：通常、塩酸アゼラスチンとして1回1mgを、朝食後及び就寝前の1日2回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

■アレジオン錠10(日本ベーリンガーインゲルハイム)【内用薬】

一般名

エピナスチン塩酸塩錠

禁忌

本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

効能効果

気管支喘息

アレルギー性鼻炎

蕁麻疹、湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症、痒疹、そう痒を伴う尋常性乾癬

用法用量

1.気管支喘息、蕁麻疹、湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症、痒疹、そう痒を伴う尋常性乾癬：通常、成人にはエピナスチン塩酸塩として1回20mgを1日1回経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

2.アレルギー性鼻炎：通常、成人にはエピナスチン塩酸塩として1回10～20mgを1日1回経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

■オンドライシロップ10%(小野薬品工業)【内用薬】

一般名

シロップ用プラナルカスト水和物

禁忌

本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

効能効果

気管支喘息

用法用量

通常、小児にはプラナルカスト水和物として1日量7mg/kg(ドライシロップとして70mg/kg)を朝食後および夕食後の2回に分け、用時懸濁して経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。1日最高用量はプラナルカスト水和物として10mg/kg(ドライシロップとして100mg/kg)とする。ただし、プラナルカスト水和物として成人の通常の用量である450mg/日(ドライシロップとして4.5g/日)を超えないこと。

体重別の標準投与量は、通常、下記の用量を1回量とし、1日2回、朝食後および夕食後に経口投与する。

体重	ドライシロップ1回量
12kg 以上 18kg 未満	0.5g (プラナルカスト水和物として50mg)
18kg 以上 25kg 未満	0.7g (プラナルカスト水和物として70mg)

25kg 以上 35kg 未満	1.0g (プラナルカスト水和物として100mg)
35kg 以上 45kg 未満	1.4g (プラナルカスト水和物として140mg)

■キプレスチュアブル錠5(杏林製薬)【内用薬】

一般名

モンテルカストナトリウム錠

禁忌

本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

効能効果

気管支喘息

用法用量

通常、6歳以上の小児にはモンテルカストとして5mgを1日1回就寝前に経口投与する。

■ペミラston錠10mg(ブリストル・マイヤーズ)【内用薬】

一般名

ペミロラストカリウム錠

禁忌

1.妊婦又は妊娠している可能性のある婦人(【使用上の注意】「4.妊婦、産婦、授乳婦等への投与」の項参照)

2.本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

効能効果

気管支喘息、アレルギー性鼻炎

用法用量

気管支喘息の場合：通常、成人にはペミロラストカリウムとして1回10mgを1日2回、朝食後及び夕食後(又は就寝前)に経口投与する。小児においては、通常、下記の年齢別投与量を1回量とし、1日2回、朝食後及び夕食後(又は就寝前)に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

年齢	1回投与量
5歳以上 11歳未満	ペミロラストカリウムとして5mg
11歳以上	ペミロラストカリウムとして10mg

アレルギー性鼻炎の場合：通常、成人にはペミロラストカリウムとして1回5mgを1日2回、朝食後及び夕食後(又は就寝前)に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

7 治療を主目的としない医薬品
72 診断用薬(体外診断用薬品を除く)

■イソビスト注300(バイエル薬品)【注射】

一般名

イオトロラン注射液

禁忌

子宮卵管撮影	関節撮影
(1) ヨード又はヨード造影剤に過敏症の既往歴のある患者	(1) ヨード又はヨード造影剤に過敏症の既往歴のある患者
(2) 妊婦又は妊娠している可能性のある患者〔「妊婦、産婦、授乳婦等への投与」の項参照〕	—
(3) 骨盤腔内に急性炎症性疾患のある患者〔症状が悪化するおそれがある。〕	

効能効果

子宮卵管撮影

関節撮影

用法用量

子宮卵管撮影:通常,成人1回6~10mLを導管より子宮腔内に注入する。

なお,年齢,体重,撮影部位の大きさにより適宜増減する。

関節撮影:通常,成人1回1~10mLを関節腔内に注入する。

なお,年齢,体重,撮影部位の大きさにより適宜増減する。

■アレルゲン診断エキス「トリイ」(鳥居薬品)【注射】

一般名

診断用アレルゲンエキス注射液

効能効果

診断:

アレルギー性疾患のアレルゲンの確認

用法用量

診断:

通常本品0.02mLを皮内に注射し、15~30分後に発赤径20mm以上または膨疹径9mm以上を陽性と判定する。

79 その他の治療を主目的としない医薬品

■ノベクタンレスプレー(田辺三菱製薬)【外用】

一般名

エトオキシエチルメタアクリル樹脂配合剤噴霧剤

効能効果

手術野の感染及び汚染防止,創傷の被覆

用法用量

術前処置:アルコール又はエーテルで手術野を清拭した後,ノベクタンレスプレーを噴霧する。

術後処置:創傷部及びその周辺を乾燥した後,ノベクタンレスプレーを噴霧する。

ノベクタンレスプレーのノズルを押さえ,適応箇所より10~20cmの距離で容器を移動させながら噴霧する。膜を厚くするには噴霧した膜が乾いた後,さらに噴霧を繰り返す。

(注)使用前に容器を振盪すること。

■ボルヒール(化学及血清療法研究所)【外用】

一般名

フィブリノゲン加第XIII因子(3)液

禁忌

1.本剤の成分又は牛肺を原料とする製剤(アプロチニン等)に対し過敏症の既往歴のある患者

2.下記の薬剤による治療を受けている患者〔「相互作用」の項参照〕

凝固促進剤(蛇毒製剤)、抗線溶剤、アプロチニン製剤

効能効果

組織の接着・閉鎖(ただし,縫合あるいは接合した組織から血液,体液または体内ガスの漏出をきたし,他に適切な処置法のない場合に限る。)

用法用量

フィブリノゲン凍結乾燥粉末(バイアル1)をフィブリノゲン溶解液(バイアル2)全量で溶解し,A液とする。

トロンビン凍結乾燥粉末(バイアル3)をトロンビン溶解液(バイアル4)全量で溶解し,B液とする。溶解した両液の等容量を接着・閉鎖部位に重層又は混合して適用する。

通常,10cm²あたりA液B液各々1mLを適用する。

なお,接着・閉鎖部位の状態,大きさなどに応じて適宜増減する。

8 麻薬

81 アルカロイド系麻薬(天然麻薬)

■MSコンチン錠30mg(塩野義製薬)【内用薬】

一般名

硫酸モルヒネ徐放錠

禁忌

- 1.重篤な呼吸抑制のある患者〔呼吸抑制を増強する。〕
- 2.気管支喘息発作中の患者〔気道分泌を妨げる。〕
- 3.重篤な肝障害のある患者〔昏睡に陥ることがある。〕
- 4.慢性肺疾患に続発する心不全の患者〔呼吸抑制や循環不全を増強する。〕
- 5.痙攣状態(てんかん重積症, 破傷風, ストリキニーネ中毒)にある患者〔脊髄の刺激効果があらわれる。〕
- 6.急性アルコール中毒の患者〔呼吸抑制を増強する。〕
- 7.アヘンアルカロイドに対し過敏症の患者
- 8.出血性大腸炎の患者〔腸管出血性大腸菌(O157等)や赤痢菌等の重篤な細菌性下痢のある患者では, 症状の悪化, 治療期間の延長を来すおそれがある。〕

効能効果

激しい疼痛を伴う各種癌における鎮痛

用法用量

通常, 成人には硫酸モルヒネとして1日20~120mgを2回に分割経口投与する。
なお, 初回量は10mgとすることが望ましい。
症状に応じて適宜増減する。

■オプソ内服液5mg(大日本住友製薬)【内用薬】

一般名

モルヒネ塩酸塩水和物液

禁忌

- 1.重篤な呼吸抑制のある患者〔呼吸抑制を増強する。〕
- 2.気管支喘息発作中の患者〔気道分泌を妨げる。〕
- 3.重篤な肝障害のある患者〔昏睡に陥ることがある。〕
- 4.慢性肺疾患に続発する心不全の患者〔呼吸抑制や循環不全を増強する。〕
- 5.痙れん状態(てんかん重積症, 破傷風, ストリキニーネ中毒)にある患者〔脊髄の刺激効果があらわれる。〕
- 6.急性アルコール中毒の患者〔呼吸抑制を増強する。〕
- 7.本剤の成分およびアヘンアルカロイドに対し過敏症の患者
- 8.出血性大腸炎の患者〔腸管出血性大腸菌(O157等)や赤痢菌等の重篤な細菌性下痢患者では, 症状の悪化, 治療期間の延長をきたすおそれがある。〕

効能効果

中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛

用法用量

通常, 成人にはモルヒネ塩酸塩水和物として1日30~120mgを1日6回に分割し経口投与する。
なお, 年齢, 症状により適宜増減する。

82 非アルカロイド系麻薬

■デュロテップパッチ5mg(ヤンセンファーマ)【外用】

一般名

フェンタニル貼付剤

禁忌

本剤の成分に対し過敏症のある患者

効能効果

中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛

用法用量

本剤は, モルヒネ製剤から切り替えて使用する。
通常, 成人に対し胸部, 腹部, 上腕部, 大腿部等に貼付し, 3日毎(約72時間)に貼り替えて使用する。
初回貼付用量は下記の換算表に基づき2.5, 5, 7.5mgのいずれかの用量を選択する。
その後の貼付用量は患者の症状や状態により適宜増減する。

〔表題〕

換算表(モルヒネ1日使用量に基づく推奨貼付用量)

デュロテップパッチ貼付用量	デュロテップパッチ貼付用量	2.5mg (25 μ g /hr \times 72 hr)	5mg (50 μ g /hr \times 72 hr)	7.5mg (75 μ g /hr \times 72 hr)
モルヒネ1日使用量	経口剤 (mg/日)	45~134	135~224	225~314
モルヒネ1日使用量	坐剤 (mg/日)	30~69	70~112	113~157
モルヒネ1日使用量	注射剤 (mg/日)	15~44	45~74	75~104

一般名-商品五十音順

【ア】	
アセトアミノフェン錠	
(*カロナール錠200)
1 (内)	
【イ】	
イオトロラン注射液	
(イソビスト注300)
5 (注)	
【エ】	
エトキシエチルメタアクリル樹脂配合剤噴霧剤	
(ノベクタンLスプレー)
5 (外)	
エピナスチン塩酸塩錠	
(アレジオン錠10)
4 (内)	
塩酸アゼラスチン錠	
(アゼプチン錠1mg)
3 (内)	
塩酸ケタミン注射液	
(ケタラール静注用200mg)
1 (注)	
塩酸ジフェンヒドラミン錠	
(ベナ錠)
3 (内)	
【ク】	
クエン酸トレミフェン錠	
(フェアストーン錠40)
3 (内)	
【シ】	
シロップ用プラシルカスト水和物	
(オノンドライシロップ10%)
4 (内)	
診断用アレルギーエキス注射液	
(アレルギー診断エキス「トリイ」)
5 (注)	
【テ】	
テガフル・ギメラシル・オテラシル配合剤 (テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム) カプセル	
(ティーエスワンカプセル20)
3 (内)	
【ヒ】	
ヒアルロン酸ナトリウム・コンドロイチン硫酸ナトリウム液	
(*ビスコート)
2 (外)	
【フ】	

フィブリノゲン加第XIII因子(3)液	
(ボルヒール)
5 (外)	
フェンタニル貼付剤	
(デュロテップパッチ5mg)
6 (外)	
プロポフォール注射液	
(*1%プロポフォール注「マルイシ」)
1 (注)	
【ヘ】	
ペミロラストカリウム錠	
(ペミラストーン錠10mg)
4 (内)	
【モ】	
モルヒネ塩酸塩水和物液	
(オプソ内服液5mg)
6 (内)	
モンテルカストナトリウム錠	
(キプレスチュアブル錠5)
4 (内)	
【リ】	
硫酸モルヒネ徐放錠	
(MSコンチン錠30mg)
6 (内)	
【レ】	
レボフロキサシン液	
(クラビット点眼液)
2 (外)	
【ロ】	
ロキソプロフェンナトリウム錠	
(ロキソニン錠)
2 (内)	

商品五十音順

【M】

MSコンチン錠30mg
6 (内)

【ア】

アゼプチン錠1mg
3 (内)

アレジオン錠10
4 (内)

アレルゲン診断エキス「トリイ」
5 (注)

【イ】

イソピスト注300
5 (注)

【オ】

オノンドライシロップ10%
4 (内)

オプソ内服液5mg
6 (内)

【カ】

*カロナール錠200
1 (内)

【キ】

キプレスチュアブル錠5
4 (内)

【ク】

クラビット点眼液
2 (外)

【ケ】

ケタラール静注用200mg
1 (注)

【テ】

ティーエスワンカプセル20
3 (内)

デュロテップパッチ5mg
6 (外)

【ノ】

ノベクタンレスプレー
5 (外)

【ヒ】

*ビスコート
2 (外)

【フ】

フェアストーン錠40
3 (内)

*1%プロポフォール注「マルイシ」
1 (注)

【ヘ】

ベナ錠
3 (内)

ペミラストン錠10mg
4 (内)

【ホ】

ボルヒール
5 (外)

【ロ】

ロキソニン錠
2 (内)

主な適応症の索引

【頭痛】

1
1

【白内障】

2
2

【鎮痛】

1
1

2
2

6
6

【アレルギー】

3
3

4
4

5
5

(別紙) 薬効分類一覧

薬効分類	分類名
1	神経系及び感覚器用医薬品
1000	神経系及び感覚器用医薬品
11	中枢神経系用薬
1100	中枢神経系用薬
111	全身麻酔剤
1110	全身麻酔剤
1111	炭化水素製剤
1112	ハロゲン炭化水素製剤
1113	ハロゲンアルコール製剤
1114	エーテル系製剤
1115	溶性バルビツール酸系及び溶性チオバルビツール酸系製剤
1116	亜酸化窒素製剤
1119	その他の全身麻酔剤
112	催眠鎮静剤 抗不安剤
1120	催眠鎮静剤、抗不安剤
1121	有機ブロム化合物製剤
1122	メプロバメート系製剤
1123	抱水クロラル系製剤
1124	ベンゾジアゼピン系製剤
1125	バルビツール酸系及びチオバルビツール酸系製剤
1126	ブロム塩製剤
1127	トウキ、センキュウ製剤
1129	その他の催眠鎮静剤 抗不安剤
113	抗てんかん剤
1130	抗てんかん剤
1131	フェナセド系製剤
1132	ヒダントイン系製剤
1133	オキサゾリジン系製剤
1134	バルビツール酸系製剤
1135	プリミドン系製剤
1136	アミノ酪酸系製剤
1137	スルホンアミド系製剤
1139	その他の抗てんかん剤
114	解熱鎮痛消炎剤
1140	解熱鎮痛消炎剤
1141	アニリン系製剤
1142	ベンジダミン製剤
1143	サリチル酸系製剤
1144	ピラゾロン系製剤
1145	インドメタシン製剤
1146	ピラビタール系類複合体製剤
1147	フェニル酢酸系製剤
1148	塩基性消炎鎮痛剤

薬効分類	分類名
1149	その他の解熱鎮痛消炎剤
115	興奮剤 覚せい剤
1150	興奮剤、覚せい剤
1151	アンフェタミン系製剤
1152	ヨヒンビン製剤
1153	ベメグリド製剤
1155	アルカロイド製剤
1159	その他の興奮剤、覚せい剤
116	抗パーキンソン剤
1160	抗パーキンソン剤
1161	アマンタジン製剤
1162	ビペリデン製剤
1163	プロフェナミン製剤
1164	レボドパ製剤
1169	その他の抗パーキンソン剤
117	精神神経用剤
1170	精神神経用剤
1171	クロルプロマジン製剤
1172	フェノチアジン系製剤
1173	モノアミン酸化酵素阻害剤
1174	イミプラミン系製剤
1179	その他の精神神経剤
118	総合感冒剤
1180	総合感冒剤
119	その他の中枢神経系用薬
1190	その他の中枢神経系用薬
12	末梢神経系用薬
1200	末梢神経系用薬
121	局所麻酔剤
1210	局所麻酔剤
1211	アミノ安息香酸アルカミンエステル製剤
1212	アミノ安息香酸アルキルエステル製剤
1213	ジブカイン系製剤
1214	キシリジン系製剤
1215	アルカロイド製剤
1219	その他の局所麻酔剤
122	骨格筋弛緩剤
1220	骨格筋弛緩剤
1221	メフェネシン系製剤
1222	クロルゾキサゾン製剤
1223	合成クラレー製剤
1224	コリン系製剤
1225	カルバメート系製剤
1226	アルカロイド製剤
1229	その他の骨格筋弛緩剤

(別紙) 採用薬品薬価一覧 【五十音順】

商品名・規格単位／内注外（一般名）	会社名	薬価／改訂日
5-FU錠50「協和」 50mg 1錠 内用薬(フルオロウラシル錠)	協和醗酵工業	227.70 2006/04/01
5-FU注250協和 250mg 1管 注射(フルオロウラシル注射液)	協和醗酵工業	438.00 2006/04/01
5-FU軟膏協和 5% 1g 外用(フルオロウラシル軟膏)	協和醗酵工業	396.30 2006/04/01
E・P・ホルモンデポー 1mL 1管 注射(カプロン酸ヒドロキシプロゲステロン・プロピオン酸エストラジオール注射液)	あすか製薬	202.00 2006/04/01
*HMG「日研」150注用 150単位1瓶（溶解液付） 注射(注射用下垂体性性腺刺激ホルモン(1))	興和創薬	2,638.00 2006/04/01
*HMG「日研」75注用 75単位1瓶（溶解液付） 注射(注射用下垂体性性腺刺激ホルモン(1))	興和創薬	1,868.00 2006/04/01
*KCL注20mqキット「テルモ」 1モル20mL 1キット 注射(塩化カリウム注射液キット)	テルモ	217.00 2006/12/08
LH-RH注0.1mg「タナベ」 0.1mg 1管 注射(酢酸ゴナドレリン注射液)	田辺三菱製薬	4,059.00 2006/06/09
1-メントール「ヨシダ」 1g 内用薬(1-メントール)	吉田製薬	25.80 2006/04/01
*MS温シップ「タイホウ」 10g 外用(パップ剤(4-12)(サリチル酸メチル・d1-カンフル・トウガラシエキス)貼付剤)	岡山大鵬薬品	0.82 2006/04/01
*MS温シップ「タイホウ」 10g 外用(パップ剤(4-12)(サリチル酸メチル・d1-カンフル・トウガラシエキス)貼付剤)	岡山大鵬薬品	0.82 2006/04/01
*MS温シップ「タイホウ」 10g 外用(パップ剤(4-12)(サリチル酸メチル・d1-カンフル・トウガラシエキス)貼付剤)	岡山大鵬薬品	0.82 2006/04/01
*MS温シップ「タイホウ」 10g 外用(パップ剤(4-12)(サリチル酸メチル・d1-カンフル・トウガラシエキス)貼付剤)	岡山大鵬薬品	0.82 2006/04/01
MSコンチン錠10mg 10mg 1錠 内用薬(硫酸モルヒネ徐放錠)	塩野義製薬	258.80 2006/04/01
MSコンチン錠30mg 30mg 1錠 内用薬(硫酸モルヒネ徐放錠)	塩野義製薬	757.10 2006/04/01
MSコンチン錠60mg 60mg 1錠 内用薬(硫酸モルヒネ徐放錠)	塩野義製薬	1,413.90 2006/04/01
*MS冷シップ「タイホウ」 10g 外用(パップ剤(3-14)(サリチル酸メチル・d1-カンフル・1-メントール)貼付剤)	岡山大鵬薬品	0.81 2006/04/01
*MS冷シップ「タイホウ」 10g 外用(パップ剤(3-14)(サリチル酸メチル・d1-カンフル・1-メントール)貼付剤)	岡山大鵬薬品	0.81 2006/04/01
*MS冷シップ「タイホウ」 10g 外用(パップ剤(3-14)(サリチル酸メチル・d1-カンフル・1-メントール)貼付剤)	岡山大鵬薬品	0.81 2006/04/01

(注) 後発品（ジェネリック医薬品）には、*印が表示されています。

(別紙) 同一成分院外薬一覧 【五十音順】

一般名	院内採用薬 採用品同種同効薬 (類似薬) 院外薬	薬価
Ｌ-アスパラギン酸 カリウム散	アスパラカリウム散50%50%1g (田辺三菱製薬)	7.20
Ｌ-アスパラギン酸 カリウム錠	アスパラカリウム錠300mg300mg1錠 (田辺三菱製薬)	6.20
亜鉛華軟膏	後亜鉛華(10%)単軟膏「ホエイ」10g (マイラン製薬) 〈2649 その他の鎮痛 鎮痒 収斂 消炎剤〉採用品同種同効薬 (類似薬)	2.45
	酸化亜鉛「マルイシ」10g (丸石製薬)	2.66
	後ポチシート5g (帝國製薬)	3.12
	デルマトール「ホエイ」1g (マイラン製薬)	15.30
	アズノール軟膏0.033%0.033%10g(日本新薬)	3.25
	イドメシンコーワゾル1%1g (興和)	9.10
	イドメシンコーワゾル1%1%1g (興和)	9.10
	オイラックスクリーム10%10%10g (ノバルティスファーマ)	38.00
	ザーネ軟膏0.5%5000単位1g (サンノーバ)	3.90
	ジルダザック軟膏3%3%1g (中外製薬)	29.60
	ミルタックスパップ30mg10cm×14cm1枚(ニプロパッチ)	24.20
	モーラステープ20mg7cm×10cm1枚(久光製薬)	34.40
	モーラステープ20mg7cm×10cm1枚(久光製薬)	34.40
	フェルデン軟膏0.5%1g (ファイザー)	8.80
	ナパゲルンローション3%3%1mL (ワイス)	10.00
	アドフィードパップ40mg10cm×14cm1枚(リードケミカル)	22.80
	ヤクバン207cm×10cm1枚 (トクホン)	15.40
	ヤクバン207cm×10cm1枚 (トクホン)	15.40
	ヤクバン207cm×10cm1枚 (トクホン)	15.40
	ボルタレンゲル1%1g (同仁医薬化工)	9.90
	ボルタレンゲル1%1%1g (同仁医薬化工)	9.90
	オイラックスHクリーム1g (ノバルティスファーマ)	16.20
	カチリ「ホエイ」10g (マイラン製薬)	1.65
	カチリ「ホエイ」10g (マイラン製薬)	1.65
	ユベラ軟膏1g (サンノーバ)	4.10
	後MS温シップ「タイホウ」10g (岡山大鵬薬品)	1.04
	後MS温シップ「タイホウ」10g (岡山大鵬薬品)	1.04
	後MS温シップ「タイホウ」10g (岡山大鵬薬品)	1.04
	後MS温シップ「タイホウ」10g (岡山大鵬薬品)	1.04
	エキザルベ1g (マルホ)	25.90
	〈院外薬〉	
	後亜鉛華(10%)単軟膏.YI10g (山田製薬)	2.45
	後亜鉛華(10%)単軟膏「コザカイ」10g(小堺製薬)	2.45
	後亜鉛華(10%)単軟膏「シオエ」10g(シオエ製薬)	2.45
	後亜鉛華(10%)単軟膏「ニッコー」10g(日興製薬)	2.37
	後亜鉛華(10%)単軟膏「ヤマゼン」10g(山善製薬)	2.45
	後亜鉛華(10%)単軟膏「ヨシダ」10g(吉田製薬)	2.45
	亜鉛華軟膏 シオエ10g (シオエ製薬)	2.03
	亜鉛華軟膏10g (山田製薬)	2.03

(注) 後発品 (ジェネリック医薬品) には、「後」印が表示されています。

(別紙) 同一成分異含有量採用薬一覧

一般名(成分名)	商品名・規格単位(会社名)
アシクロビル錠	ゾビラックス錠200 200mg 1錠 (グラクソ・スミスクライン)
	ゾビラックス錠400 400mg 1錠 (グラクソ・スミスクライン)
アシクロビル軟膏	ゾビラックス眼軟膏 3% 1g (グラクソ・スミスクライン)
	ゾビラックス軟膏5% 5% 1g (グラクソ・スミスクライン)
アスコルビン酸注射液	ビタミンC注「フソー」-100mg 100mg 1管 (扶桑薬品工業)
	ビタミンC注「フソー」-500mg 500mg 1管 (扶桑薬品工業)
アスピリン・ダイアルミネート錠	バファリン330mg錠 330mg 1錠 (ライオン)
	*バファリン81mg錠 81mg 1錠 (ライオン)
アセトアミノフェン坐剤	アンヒバ坐剤小児用100mg 100mg 1個 (アボットジャパン)
	アンヒバ坐剤小児用200mg 200mg 1個 (アボットジャパン)
	アンヒバ坐剤小児用50mg 50mg 1個 (アボットジャパン)
アゼルニジピン錠	カルブロック錠16mg 16mg 1錠 (第一三共)
	カルブロック錠8mg 8mg 1錠 (第一三共)
アトルバスタチンカルシウム錠	リピトール錠10mg 10mg 1錠 (アステラス製薬)
	リピトール錠5mg 5mg 1錠 (アステラス製薬)
アルジオキサ顆粒	*イサロン顆粒25% 25% 1g (あすか製薬)
	*イサロン顆粒50% 50% 1g (あすか製薬)
アルファカルシドールカプセル	アルファロールカプセル0.25μg 0.25μg 1カプセル(中外製薬)
	アルファロールカプセル0.5μg 0.5μg 1カプセル(中外製薬)
イオヘキソール注射液	オムニパーク140 30.20% 50mL 1瓶 (第一三共)
	オムニパーク240 51.77% 10mL 1瓶 (第一三共)
	オムニパーク300 64.71% 100mL 1瓶 (第一三共)
	オムニパーク300 64.71% 20mL 1瓶 (第一三共)
	オムニパーク350 75.49% 20mL 1瓶 (第一三共)
インスリン グラルギン(遺伝子組換え)注射液	ランタス注オプチック300 300単位1筒 (サノフィ・アベンティス)
	ランタス注バイアル1000 100単位1mLバイアル(サノフィ・アベンティス)
インターフェロンα(NAMALWA)注射液	スミフェロンDS300 300万国際単位1筒 (大日本住友製薬)
	スミフェロンDS600 600万国際単位1筒 (大日本住友製薬)
	スミフェロン900注 900万国際単位1瓶 (大日本住友製薬)
インターフェロンアルファコン-1(遺伝子組換え)注射液	アドバフェロン皮下注1800 1800万国際単位1瓶(アステラス製薬)
	アドバフェロン皮下注900 900万国際単位1瓶 (アステラス製薬)
インドメタシン坐剤	インダシン坐剤25 25mg 1個 (萬有製薬)
	インダシン坐剤50 50mg 1個 (萬有製薬)
エストリオール錠	エストリール錠 0.5mg 1錠 (持田製薬)
	ホーリンV錠 1mg 1錠 (あすか製薬)
エバステチン錠	エバステル錠10mg 10mg 1錠 (大日本住友製薬)
	エバステルOD錠5mg 5mg 1錠 (大日本住友製薬)
エピナスチン塩酸塩錠	アレジオン錠10 10mg 1錠 (日本ベーリンガーインゲルハイム)
	アレジオン錠20 20mg 1錠 (日本ベーリンガーインゲルハイム)
エポエチンα(遺伝子組換え)キット	エスポー皮下用12000シリンジ 12000国際単位0.5mL 1筒(キリンファーマ)
	エスポー皮下用24000シリンジ 24000国際単位0.5mL 1筒(キリンファーマ)
	エスポー皮下用6000シリンジ 6000国際単位0.5mL 1筒(キリンファーマ)
塩酸イミダプリル錠	タナトリル錠2.5 2.5mg 1錠 (田辺三菱製薬)
	タナトリル錠5 5mg 1錠 (田辺三菱製薬)

(注) 後発品(ジェネリック医薬品)には、*印が表示されています。

(別紙) 妊産婦投与時に注意が必要な採用薬一覧 【五十音順】

商品名 規格単位 (一般名)	妊産婦投与に関する記載
5-FU錠50「協和」 50mg 1錠 (フルオロウラシル錠)	1. 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。[動物実験(ラット、マウス)で口蓋裂、合指症等の催奇形作用が認められている。] 2. 授乳婦に投与する場合には授乳を中止させること。[授乳中の投与に関する安全性は確立していない。]
5-FU注250協和 250mg 1管 (フルオロウラシル注射液)	1. 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。[動物実験(ラット、マウス)で多指症、口蓋裂等の催奇形作用が報告されている。] 2. 授乳婦に投与する場合には授乳を中止させること。[授乳中の投与に関する安全性は確立していない。]
5-FU軟膏協和 5% 1g (フルオロウラシル軟膏)	1. 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、投与しないことが望ましい。[静脈内投与による動物実験(ラット、マウス)で多指症、口蓋裂等の催奇形作用が報告されている。] 2. 授乳婦に投与する場合には授乳を中止させること。[授乳中の投与に関する安全性は確立していない。]
*HMG「日研」150注用 150単位 1瓶(溶解液付) (注射用下垂体性腺刺激ホルモン(1))	妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないこと。[妊娠中の投与は不要であり、また、妊婦への投与に関する安全性は確立していない。]
*HMG「日研」75注用 75単位 1瓶(溶解液付) (注射用下垂体性腺刺激ホルモン(1))	妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないこと。[妊娠中の投与は不要であり、また、妊婦への投与に関する安全性は確立していない。]
LH-RH注0.1mg「タナベ」 0.1mg 1管 (酢酸ゴナドレリン注射液)	妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。[動物実験で流産(マウス)若しくは分娩遅延(マウス、ラット、ウサギ)が認められている。]
MSコンチン錠10mg 10mg 1錠 (硫酸モルヒネ徐放錠)	1. 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。[動物試験(マウス)で硫酸モルヒネの大量投与により胎児催奇形性作用が報告されている。] 2. 分娩前に投与した場合、出産後新生児に退薬症候(多動、神経過敏、不眠、振戦等)があらわれることがある。 3. 分娩時の投与により、新生児に呼吸抑制があらわれることがある。 4. 授乳中の婦人には、本剤投与中は授乳を避けさせること。[ヒト母乳中へ移行することがある。]
MSコンチン錠30mg 30mg 1錠 (硫酸モルヒネ徐放錠)	1. 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。[動物試験(マウス)で硫酸モルヒネの大量投与により胎児催奇形性作用が報告されている。] 2. 分娩前に投与した場合、出産後新生児に退薬症候(多動、神経過敏、不眠、振戦等)があらわれることがある。 3. 分娩時の投与により、新生児に呼吸抑制があらわれることがある。 4. 授乳中の婦人には、本剤投与中は授乳を避けさせること。[ヒト母乳中へ移行することがある。]
MSコンチン錠60mg 60mg 1錠 (硫酸モルヒネ徐放錠)	1. 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。[動物試験(マウス)で硫酸モルヒネの大量投与により胎児催奇形性作用が報告されている。] 2. 分娩前に投与した場合、出産後新生児に退薬症候(多動、神経過敏、不眠、振戦等)があらわれることがある。

(注) 後発品(ジェネリック医薬品)には、*印が表示されています。

■院内採用薬一覧表 (薬効分類-内注外-五十音)
商品名・規格単位／一般名

2008/01/16 16:36:55
単位薬価 薬価改訂日
製造元

1 神経系及び感覚器官用医薬品

11 中枢神経系用薬

注射	■ラボナール注射用0.5g 500mg 1管 注射用チオペンタールナトリウム	田辺三菱製薬	1,178.00	2006/04/01
	■1%プロポフォール注「マルイシ」 200mg 20mL 1管【後発品】 プロポフォール注射液	丸石製薬	1,197.00	2006/04/01
外用	■セボフレシ 1mL セボフルラン吸入剤	丸石製薬	78.50	2006/04/01
	■セボフレシ 1mL セボフルラン吸入剤	丸石製薬	78.50	2006/04/01
	■フォーレン 1mL イソフルラン吸入剤	アボットジャパン	76.10	2006/04/01
内用薬	■エリスパン錠0.25 0.25mg 1錠 フルジアゼパム錠	大日本住友製薬	9.70	2006/04/01
	■グラндаキシシ錠50 50mg 1錠 トフィンパム錠	持田製薬	18.70	2006/04/01
	■セレナミン錠2mg 2mg 1錠【後発品】 ジアゼパム錠	旭化成ファーマ	6.40	2006/04/01

12 末梢神経系用薬

注射	■塩プロ1%注「小林」 1%5mL 1管 プロカイン塩酸塩注射液	アイロム製薬	97.00	2006/04/01
	■オムニカイン注1% 1%10mL 1管 プロカイン塩酸塩注射液	第一三共	97.00	2006/04/01
	■テトカイン「杏林」20mg 20mg 1管 注射用テトラカイン塩酸塩	杏林製薬	91.00	2006/04/01
外用	■アミノ安息香酸エチル 1g アミノ安息香酸エチル	丸石製薬	9.70	2006/04/01
注射	■0.3%ペルカルミンエス注射液 0.3%3mL 1管	ナガセ医薬品	260.00	2006/04/01